



柏葉



平成29年10月13日(金)
 福島県白河市立東北中学校
 発行責任者 校長 星 喜博
 スローガン「前進」

県南地区新人大会結果速報

今月に入り、各競技の県南地区新人大会が開催されていますが、本校からは女子卓球部、バレーボール部が県大会出場を決めました。惜しくも敗れたチームの分まで全力でプレーするのが勝ったチームの使命です。県大会まで猛練習に取り組み、県南地区の代表にふさわしい立派な戦いぶりを期待しています。保護者の皆様、お忙しい中ご声援ありがとうございました。

- 平成29年度県南地区中学校新人卓球大会 女子団体 第3位
- 第44回県南中学生バレーボール選手権大会 第5位

日本サッカーはギリギリの勝負になぜ弱いのか！？

高校サッカー界では強豪中の強豪で知られる青森山田高校は昨年度、全国大会優勝を果たしています。(青森山田中は全国4連覇中です) 冬場は雪のため練習は制限されますが、それをデメリットととらえず、雪かき等で足腰を徹底的に鍛えるなど、自分たちの強みに変えています。

この青森山田高校サッカー部顧問、黒田剛(くろだごう)先生は「日本のサッカーがギリギリの勝負でなぜ勝てないのか」をテーマにしたコラムにおいて、「人材の育成」について次のように言っています。

「ワンプレーに泣いた」「内容は悪くなかったが・・・」「一瞬のところでやられてしまった」「あと一步だった」「育成の方向は間違えていない」等々、もう何十年も同じ報告を耳にしてきただろうか。「育成」や「強化」というものは「向上する」「無いものを得る」「獲得する」「勝利する」それ以外に意味や目的がないと私は思う。そして、今の日本人選手に絶対的に求められる要素で、確実に獲得しなければならないのは「技術」や「戦術」「海外経験」ではないような気がする。「技術」や「経験値」はとても重要で必要なことであるが、「ギリギリの勝負に弱い」という長年の課題には全く向き合っていない。

(中略・・・)



「責任行動」を追求し、「ハングリー精神」を求め続け、「嫌なこと」「つらいこと」から逃げ出させない。「我慢」や「辛抱」から獲得できるものを教える。指導する側と指導される側、お互いに大きなストレスがかかり、トラブルが生じることも容易に想像できるし、現在の日本社会の流れから考えると少しかけ離れるかもしれない。しかしこれが「人材育成」であり、「人間教育」である。トラブルやストレス無くして『強い人材育成』は無いと思っている。

様々なトラブルやストレスを克服してこそ世界に通用する人材が育つのだと、日本一のチームを率いる監督は考えています。目の前の苦しさから逃げないで、勉強や部活動に前向きに取り組んでいきたいものです。

最高の思い出をつくるために！～柏葉祭に向けて～

今年度の文化祭まで一週間と期日が迫ってきました。生徒は合唱練習や学年発表の練習をはじめ、実行委員の仕事など、限られた時間の中で忙しく活動しています。放課後の活動も本格的になってきました。体調に留意しながら、思いで深い文化祭にできるよう精一杯取り組みましょう。



↑手振りをつけてのパート練習（2の1）



↑心を一つに歌声を廊下に響かせます（1の1）



↑まとまりのある全体練習（2の2）



↑ビッグアートの下準備。細かい作業です。（3の1）

来週の行事予定

日	曜	行 事	日課変更	備 考	給食
16	月	全校朝会	月1～4総・総	柏葉祭準備	○
17	火	SC成井先生来校 フッ化物洗口	火1～4総・総	柏葉祭準備	○
18	水		水1～4総・総	柏葉祭準備	○
19	木		木1346総・総	柏葉祭準備	○
20	金	週番引継会 部活動なし	総×5	柏葉祭準備	○
21	土	柏 葉 祭			
22	日				
23	月	振替休業日			
24	火	色覚検査（1の1）			○
25	水	諸会費集金日 第2回読書週間	水1～4月56		○
26	木	色覚検査（1の2）3年実力テスト			○
27	金	避難訓練（防犯教室）高校入試保護者説明会			○
28	土				
29	日				

※ 来週から気温が大きく低下する予報です。衣服の調整など体調管理に努めさせてください。